

定例公安委員会の開催状況について

令和2年12月24日（木）に、第36回定例山形県公安委員会を開催し、議事の概要は次のとおりでした。

1 派遣型研修の実施状況について

若手を中心とした捜査員の早期育成のために実施している派遣型研修の状況について報告があった。

委員のコメント

- このようなプログラムは良い。対象事件も多岐にわたっており、指導する方も教え方を工夫するようになる。捜査員の成長を期待したい。
- 凶悪事件は発生が少ないため、この種事件を所轄だけでなく全県で捉えることは良い取組だ。継続していけば良い結果が出ると思う。
- 捜査員を育てるには経験がものを言うので、是非、いろいろな経験をさせてほしい。

2 山形市内における殺人未遂事件の検挙について

山形市内における殺人未遂事件の検挙について報告があった。

委員のコメント

- 迅速な捜査体制と関係所属の努力によって検挙につながったことを評価したい。日頃から警察署間の連携をとっていることがいきた事例と思う。
- 時間の経過とともに検索範囲が広範囲になるところ、分散配置していたことで見つけられたものと評価する。今後も警察署間で協力して対応してほしい。

3 日本海沿岸東北自動車道の一部供用について

日本海沿岸東北自動車道が本年12月13日から一部供用され、それに伴う標識や信号機設置といった安全対策状況等の報告があった。

委員のコメント

- これからも高速道路が延長されると、観光客を含め、山形県の交通事情がわからない人も入ってくると思う。逆走や乗り降りするインターが分からないという例も出るかもしれないので、高速道路の延長に応じた体制づくりを進めてほしい。
- 道路が整備されていくのは喜ばしいが、新しい道路ができると高齢ドライバーには戸惑いも生じると思う。標識や標示を整備して逆走等がないよう対策をとってほしい。